

松阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和2年度評価結果

松阪市企画振興部経営企画課

## 松阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果一覧表

### ≪ 数値目標 ≫

指 標	現状値	R2実績	R3	R4	R5	—	目標値 (R5)	評価	内部評価
人口 <sup>※1</sup>	159,774人 (R1)	159,231人 (R2)					157,950人	E	人口減少に歯止めがかかっていない状況にある。引き続き人口減少に対応する取組を進める必要がある。
合計特殊出生率 <sup>※2</sup>	1.50人 (H30)	1.45人 (R1)					1.74人	E	合計特殊出生率はH25より下がっており、直近3年は三重県の出生率より低くなっている。今後も更に子育て環境の充実に取り組む必要がある。
現在の生活への満足度 <sup>※3</sup>	75.0% (R1)	—					77.0%	—	令和2年度は市民意識調査を行っていない。引き続き満足度の上昇に向けた取組を進めていく。

※1 平成27年、令和2年国勢調査より。各年度の基準日は10月1日。住民基本台帳による人口動態（自然増減、社会増減）により各年度の人口を推計。

※2 三重県の人口動態「衛生統計年報 第5表人口動態総覧（率）－保健所・市町別」より

※3 市民意識調査より

### ≪ 参考資料 ≫ 住民基本台帳による松阪市の総人口（基準日：10月1日）

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
松阪市の総人口（住民基本台帳）	163,644人	162,244人				
前年との比較		△ 1,400	△ 162,244	0	0	0

## 松阪市地方創生総合戦略 評価結果一覧表

分野	定住促進									
基本目標	住みたい・住み続けたいまちをつくります									
指 標	現状値	R2実績	R3	R4	R5	-	目標値 (R5)	評価	内部評価	
総合的にみて松阪市は住みよいまちと感じる人の割合	76.7% (R1)	-					80.0%	-	令和2年度は市民意識調査を行っていないため実績が出ていない。引き続き定住促進の取組を進めていく。	

施策名	番号	指 標	現状値	R2実績	R3	R4	R5	-	目標値 (R5)	評価	内部評価
魅力あるまちづくり	1	転入者数	5,009人 (R1)	4,382人					5,050人	E	前計画期間(H27～R1)平均で4,923人であったが、大幅に減少しており、今後も移住促進に取り組んでいく。
	2	転出者数	5,411人 (R1)	5,000人					5,347人	A	前計画期間(H27～R1)平均で5,384人であり、目標値を達成しているが、コロナの影響が考えられる。今後も雇用創出と連携した移住促進の取組を進める必要がある。
	3	空き家バンク成約世帯数（累計） ※中山間地域	57世帯 (R1)	72世帯					90世帯	D	移住希望者の増加により順調に成約者数が伸びている。引続き登録物件を増やす取組を進めていく。
	4	住民が主体となってコミュニティ交通を導入した地域	1地域 (R1)	1地域					3地域	E	超高齢社会を迎え多様化するニーズに応えるため、移動手段の一つとして引き続き取組を進めていく。
<p>これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○タクシーの運行エリアであるが、路線バス停留所や鉄道駅などまで距離がある虹が丘町自治会が導入するコミュニティ交通を支援しました。(R1～)</li> <li>○空き家バンク制度を推進し、空き家の有効活用に取り組みました。(H26～)</li> <li>○田舎の良さを再発見してもらうためにパンフレットの製作及び田舎暮らし体験等を実施しました。(H29～)</li> <li>○地域おこし協力隊を活用し、中山間地域の魅力発信や地域資源の活用、地域を担う人材育成等に取り組みました。(R元～)</li> <li>○移住相談総合窓口「まつさか移住交流センター」を開設し、土日対応とすることで移住・定住の推進に取り組みました。(R2～)</li> </ul>											

松阪市地方創生総合戦略 評価結果一覧表

魅力発信の松阪市の	5	松阪市ホームページの月平均アクセス数	181,892件/月 (R1)	312,413件/月					200,000件/月	A	目標値を上回っているが、引き続き松阪市の魅力発信に取り組んでいく。
	6	SNS（Instagram、Twitter等）の総フォロワー数	5,380件 (R1)	8,306件					10,000件	C	さまざまな情報発信、キャンペーンの実施によりフォロワー数は増加している。さらに増加に向けて取組を進めていく。
	<p>これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○2020年（令和2年）開催予定であったみえ松阪マラソン特設サイトを作成し、PRを行った。（R1～）</li> <li>○2021年（令和3年）開催予定である「国体」の特設サイトを作成し、PRを行った。（R1～）</li> <li>○移住定住の情報発信を強化するため、「移住定住」のサブサイトをリニューアルし、公開した。（R1～）</li> <li>○松阪市公式Instagramでキャンペーンを実施し、フォロワー数の増加を図った。（R1・R2）</li> <li>○松阪市内の飲食店のPR・情報発信をするため、松阪市内店舗PR動画「ウチの逸品」を作成・公開した。（R2～）</li> <li>○観光情報の発信を強化するため、R28から公開している「観光プロモーションサイトに加えて、」松阪市観光インフォメーションサイト「ワクワク松阪」を公開した。（R2～）</li> </ul>										

## 松阪市地方創生総合戦略 評価結果一覧表

分野	少子化対策									
基本目標	結婚・出産の希望がかない、次世代を担う子どもを健やかに育てるまちをつくります									
指 標	現状値	R2実績	R3	R4	R5	-	目標値 (R5)	評価	内部評価	
子どもたちがのびのび育つ環境への満足度	3.01/5 (R1)	-					3.10/5	-	令和2年度は市民意識調査を行っていないため実績が出ていない。引き続き子育てしやすい環境づくりに取り組んでいく。	
子どもたちが安心して教育を受けられる環境への満足度	3.08/5 (R1)	-					3.15/5	-	令和2年度は市民意識調査を行っていないため実績が出ていない。引き続き子育てしやすい環境づくりに取り組んでいく。	

施策名	番号	指 標	現状値	R2実績	R3	R4	R5	-	目標値 (R5)	評価	内部評価
結 婚	1	20～49歳の未婚率	32.2% (R1)	-					31%	-	令和2年度は市民意識調査を行っていないため実績が出ていない。結婚は個人の考え方や価値観が尊重されるべきものであるため、市としては結婚・出産や子育ての希望をかなえることができる環境づくりに取り組んでいく。
	これまでの主な取組 ○出逢い創出事業を通じて、未婚者の結婚意識の高揚を図り、少子化及び定住化対策を目的としてイベントを開催することにより、独身男女に出会いの場を提供した。 (実績) ○H27=26名参加(カップリング4組)、H28=37名参加(カップリング4組)、H29=54名参加(カップリング7組)、H30=56名参加(カップリングまで追わず)、H31(R1)=コロナのため開催せず。 R2=21名参加(カップリングは追わず) ※令和2年度より、リバーサイド茶倉指定管理委託事業として実施										

施策名	番号	指 標	現状値	R2実績	R3	R4	R5	-	目標値 (R5)	評価	内部評価
出 産	2	産婦健康診査受診率	86.2% (R1)	86.90%					100.0%	E	窓口や医療機関における妊産婦への産婦健康診査の周知を継続していく。
	3	松阪市で今後も子育てをしていきたいと思う保護者の割合	95.8% (R1)	96.20%					100.0%	E	妊娠・出産・子育てを途切れなく支援する「松阪版ネウボラ」の体制強化を図る
	これまでの主な取組 ○妊娠・出産・子育て期の途切れのない支援を行う「松阪版ネウボラ」を推進し、松阪版ネウボラの拠点として健康センター(平成27年度～旧健康センター平成29年度～健康センターはるる)と嬉野保健センター(平成30年度～)を「子育て世代包括支援センターとして活動。 ○新型コロナウイルス感染症対策の一環として家庭での仕事や生活が長期化しがちなライフスタイルの中で、妊産婦や乳幼児の保護者を対象に悩みや不安を軽減するための個別のオンライン相談を実施。(令和2年～) ○コロナ禍で感染ハイリスクとされる妊婦を対象に健やかな妊娠期を送れるように少人数制でオンラインでのプレママ教室を実施。(令和2年～) ○多胎児を妊娠中または未就学の多胎児を子育て中の保護者を対象に、多胎児家庭の結びつきと多胎児の育児経験者等の体験談をもとにした交流の機会での不安の解消を図るサロンを実施。(令和2年～)										

松阪市地方創生総合戦略 評価結果一覧表

子育て	4	保育園の待機児童数（10/1国基準）	117人 (R1)	37人					50人	A	大幅に減少できた。今後も最小限化を図れるよう取り組みを進めていく。
	5	幼稚園の「預かり保育」実施園数	4園/18園 (R1)	4園/18園 (R2)					10園/18園	E	令和3年4月からの増園に向け、保育環境整備や備品調達等を実施した。
<p>これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○私立認可保育園の新設、移転・改築に対し支援を実施し、定員増（計370人増）を行いました。（H27わかすぎ保育園：40名増、H28わかすぎ第3保育園：180名増（新規）、H30つくし保育園：40名増、R2久保保育園：40名増、R2神戸保育園：30名増、R2山室山保育園：40名増）（H27～R2）</li> <li>○公立春日保育園の移転・改築を実施し、定員増（70名増）を行いました。（H30～R2）</li> <li>○保育園で保育中に体調不良となった園児を医療機関へ送迎・受診する病児・病後児送迎事業を開始しました。（R2～）</li> <li>○18歳未満の兄弟がいる第3子以降の保育料等を免除するワンモアベビー支援事業を開始しました。（R2～）</li> <li>○子育て支援センターにて、子育てについての相談、情報提供、助言その他の援助を行い、乳児又は幼児及びその保護者の相互の交流をしました。（継続）</li> <li>○令和元年10月より開始された「幼児教育・保育の無償化」について、保護者周知・対応をはじめ、事業を円滑に開始しました。（R元～）</li> <li>○公立認定こども園3園（飯南ひまわりこども園、飯南たんぼぼこども園、やまなみこども園）を開園しました。（R2～）</li> <li>○公立保育園で発生する紙おむつを園での回収処分及び、公立保育園全園で主食炊飯を開始しました。（R3～）</li> <li>○松阪市立春日保育園で、午後9時までの超延長保育を令和3年10月から開始します。（R3～）</li> <li>○公立幼稚園の預かり保育実施園を4園から6園増やし、10園で開始しました。（R3～）</li> </ul>											
子どもの教育	6	家庭学習におけるICTの活用度	4.6% (R1)	4.7% (R2)					60.0%	E	R2年度中に、GIGAスクール構想による一人一台のタブレット整備が完了した。しかし、タブレットの持ち帰り学習はR3年度より開始することから、本年度も昨年度とほぼ同数値となった。次年度は、すべての学校でICTを活用した家庭学習が行えるように計画的に支援していく。
	7	学級満足度尺度調査（Q-U）による満足度	59.3% (R1)	62.9% (R2)					65.0%	C	R1年度と比較すると、2.9ポイント上昇していた。しかし、人間関係を構築してうえで必要な人への「配慮」と「関わり」のスキルが身につけていない児童生徒が多くいる。コロナ禍において、人との関わりが制限される中、各校におけるソーシャルスキルトレーニングを含めた学級経営等の支援を計画的に進めていく。
	8	1日10分以上読書（授業以外）をしている割合	56.4% (R1)	55.1% (R2)					60.0%	E	昨年度と比べ若干減少している。要因として、コロナウイルス感染症に係る外出自粛や、臨時休校による子どもたちの読書環境が例年と異なったことが考えられる。今後、社会情勢を踏まえ、読書環境の充実と共に、家庭学習や読書習慣の確立のための取組を継続して進めていく。
<p>これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>順次、共有型のタブレットやノートパソコンを整備し授業等で活用を開始しました（H23～）</li> <li>全ての学校に一人一台のタブレットを整備し授業等で活用を開始しました（R2～）</li> <li>学校読書室へ図書館司書を配置し、環境整備や読書ボランティアの育成を行いました。（継続）</li> <li>一部の学校で、学校読書室の書籍をバーコード化し、松阪市図書館と連携のできるシステムを導入しています。（H28～）</li> </ul>											

## 松阪市地方創生総合戦略 評価結果一覧表

分野	雇用創出									
基本目標	地域産業の活性化により雇用を生み、みんながいきいきと働けるまちをつくりま									
	指 標	現状値	R2実績	R3	R4	R5	-	目標値 (R5)	評価	内部評価
	いきがいをもって働ける魅力ある環境への満足度	2.79/5 (R1)	-					2.85/5	-	令和2年度は市民意識調査を行っていないため実績が出ていない。引き続き働く場の充実に取り組んでいく。

施策名	番号	指 標	現状値	R2実績	R3	R4	R5	-	目標値 (R5)	評価	内部評価	
地域 産 業 の 振 興	1	市内事業所従業者数（工業統計調査）	13,207人 (R1)	13,569人					13,300人	A	引き続き、産業の維持発展のため、取組を継続していく。	
	2	魅力的な商店づくりや中小企業の支援等地域の産業を育てる取組への満足度	2.89/5 (R1)	-					3.00/5	-	令和2年度は市民意識調査を行っていないため実績が出ていない。引き続き中小企業等の支援に取り組んでいく。	
	3	高校生の地元就職率	40.7% <small>(H26~30平均値)</small>	41.7% <small>(H27~R01平均値)</small>						43%	D	引き続き、若者の地元就職及び地元定着の取組を進めていく。
	4	市内耕地面積のうち、担い手となる中心経営体への集積率	48.1% (R1)	50.80%						60%	E	土地利用型担い手農家への集積を勧めていく
	5	実質化された人・農地プラン地区数	100地区 (R1)	104地区						120地区	E	引き続き関連する事業実施地区及び実施を検討している地区に係る情報収集、勧奨を行っていく。
	6	モニタリング対象10施設入込客数増減率（平均）	100% (R1)	77%						110%	E	新型コロナウイルス感染症の影響により各施設とも大幅な入込客数の減となった。引き続きウィズコロナ、アフターコロナを見据えた取り組みが必要である。
	7	観光消費額(推計)増減率	100% (R1)	67%						110%	E	新型コロナウイルス感染症の影響により観光消費額は大幅な減となった。引き続きウィズコロナ、アフターコロナを見据えた取り組みが必要である。
	8	市内事業者に対する連携支援件数（累計）	11件 (R1)	12件						40件	E	コロナ禍での、商材及び人材マッチングを積極的に取り組みを行った。
<p>これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本市とゆかりの深い東京日本橋において、本居宣長や松阪商人を育んだ松阪の風土や魅力を発信する松阪経営文化セミナーを開催し、繋がりを深め、観光客誘致に繋がりました(H25～※R2は新型コロナウイルスの影響により中止)</li> <li>○観光戦略の広域化を目的に1市3町と観光協会、商工会議所、商工会の14団体で構成する「松阪・多気・明和・大台圏域観光連携事業推進協議会」を平成28年5月2日設立。スケールメリットを活かした事業の基幹として圏域観光情報誌「るぶ松阪多気明和大台」を制作、高速道路SAなどのパンフレットラックへの配備、各種イベント会場で配布するなどの観光連携PR事業を実施した。(H28～※R2は新型コロナウイルスの影響により一部中止や縮小あり)</li> </ul>												

## 松阪市地方創生総合戦略 評価結果一覧表

地域産業の振興	<p>○松阪の重厚な歴史・文化を活かした「まちなか観光」の推進のため、平成31年4月に開館した「豪商のまち松阪観光交流センター」と、松坂城跡周辺の歴史文化ゾーンに点在する「旧長谷川治郎兵衛家」、「旧小津清左衛門家」、「原田二郎旧宅」を、指定管理者制度により「一般社団法人松阪市観光協会」に委託し、一体的な経営を行ったことで、特色のある企画展やイベントなどを開始することができ、多数の観光客誘致を図りました(H31～※R2は新型コロナウイルスの影響により一部中止や縮小あり)</p> <p>○新型コロナウイルスにより落ち込んだ観光産業の支援を目的にクーポン事業などの各種施策を実施した(R2)</p> <p>○スマートフォンでの閲覧を意識した観光情報インフォメーションサイトを新たに作成し、観光情報の発信や各種キャンペーンを展開した(R2～)</p> <p>○SNS(Instagram)を活用し、観光情報の発信や各種キャンペーンを展開した(R2～)</p> <p>○産業の競争力を強化するため、産学官金連携を支援し、共同開発や販路拡大等を促進しました。(継続)</p> <p>○事業所の課題を解決に導くよう、産業支援センターによる相談窓口の設置、専門家派遣事業等を実施。(継続)</p> <p>○卒業予定者の地元就職の促進資料として、地元の求人予定事業所の紹介ガイドブックを作成し、管内及び周辺高等学校等に配布する取り組みを行った。(継続)</p> <p>○農業関係の補助事業等の支援と並行し、担い手となる中心経営体への農地集積をすすめました。</p> <p>○地域の話合いを通じ、担い手となる中心経営体へ集積していくための人・農地プランの作成を支援しました。</p>										
	施策名	番号	指 標	現状値	R2実績	R3	R4	R5	-	目標値(R5)	評価
企業誘致	9	企業立地件数（累計）	3件 (R1)	4件					12件	E	コロナ禍での新規分野開拓に向けた新規投資を推進した。
	<p>これまでの主な取組</p> <p>○三重県をはじめ関係機関と連携しながら、企業立地に関する優遇制度をPRし、企業誘致活動を展開しました。(継続)</p> <p>○企業立地アンケート等の動向調査を実施し、企業情報の収集に努めました。(継続)</p>										
仕事の創出	10	創業に向けて相談を行っている者	38人 (R1)	35人 (R2)					50人	E	目標達成に向けて継続して支援を行っていく
	11	相談支援から創業につながった人数	26人 (R1)	22人 (R2)					30人	E	目標達成に向けて継続して支援を行っていく
	<p>これまでの主な取組</p> <p>○商店街における空き店舗情報の提供。(継続)</p> <p>○豪商のまち店舗改装支援事業において、より利用を促進させるため、補助対象経費・必要書類等の見直しを行った。(R2～)</p> <p>○創業セミナーに加え、子育て世代を対象としたビジネスセミナーを開催。(継続)</p>										
ワーク・ライフ・バランスの推進	12	余暇の充実度	64.6% (R1)	-					65.0%	-	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業所訪問・アンケートは取りやめ、啓発に関する資料を関係各課と連携し市内事業所へ送付しました。
	<p>これまでの主な取組</p> <p>例年、事業所等におけるワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の啓発と普及を目的として、事業所訪問・アンケートを実施し、意識啓発を積極的に行いましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業所訪問・アンケートは取りやめ、啓発に関する資料を関係各課と連携し市内事業所へ送付しました。</p>										

## 松阪市地方創生総合戦略 評価結果一覧表

分野	地域づくり									
基本目標	地域の絆を深め、安全で安心な住みよいまちをつくります									
指 標	現状値	R2実績	R3	R4	R5	-	目標値 (R5)	評価	内部評価	
総合的にみて松阪市は住みよいまちと感じる人の割合	76.7% (R1)	-					80.0%	-	令和2年度は市民意識調査を行っていないため実績が出ていない。引き続き定住促進の取組を進めていく。	
住民自治協議会（住民協議会）のまちづくり活動に参加している人の割合	21.7% (R1)	-					40.0%	-	令和2年度は市民意識調査を行っていないため実績が出ていない。コロナの影響もあるが、引き続きまちづくり活動の取組を進めていく。	
市民と行政との協働を推進するまちづくりの満足度	2.95/5 (R1)	-					3.05/5	-	令和2年度は市民意識調査を行っていないため実績が出ていない。引き続きまちづくり活動の取組を進めていく。	

施策名	番号	指 標	現状値	R2実績	R3	R4	R5	-	目標値 (R5)	評価	内部評価
コ ミ ュ ニ テ ィ づ く り	1	地域計画の策定	41地区 (R1)	43地区					43地区	A	すべての地区において地域計画の策定されました。
	2	地域づくり連携グループ「げんきアップ松阪」登録数	40団体 (R1)	42					50団体	E	コロナ禍で集まることが出来なかったがアンケート実施や住民協議会訪問など次年度の支援につなげていきます。
	3	お元気応援ポイント事業団体登録参加数	576団体 (R1)	609団体 (R2)					610団体	A	ほぼ目標値を達成しました。
	4	「みえ松阪マラソン」に対するランナーからの総合評価(H30の現状値はシティマラソンの評価)	62.9点 (H30)	-					90点	-	R2は中止となりました。
	5	気軽にスポーツを行うことができる環境づくりに対する満足度	3.00/5 (R1)	-					3.10/5	-	令和2年度は市民意識調査を行っていないため実績が出ていない。引き続き気軽にスポーツのできる環境づくりに取り組んでいく。
<p>○登録団体へのアンケートおよび住民協議会訪問を行い、コロナ禍での支援内容について聞き取りを行った。(R2年～)</p> <p>○松阪市地域の元気応援事業市民活動サポート部門に応募した団体について、げんきアップ松阪について紹介・登録を行った。(R2～)</p>											

### 松阪市地方創生総合戦略 評価結果一覧表

安全 ・ 安心	6	災害に対する備えをしている人の割合	41.4% (R1)	-					50.0%	-	令和2年度は市民意識調査を行っていないため実績が出ていない。引き続き災害への備えの啓発等に取り組んでいく。
	7	浸水対策事業に対する市民満足度	2.77/5 (R1)	-					2.90/5	-	令和2年度は市民意識調査を行っていないため実績が出ていない。引き続き浸水対策に取り組んでいく。
	8	交通事故死傷者数(1月～12月)	334人 (R1)	283人					289人	A	新型コロナウイルス感染防止に伴う外出自粛の影響もあり、件数、人数ともに減少した。
	9	犯罪をなくし安全で安心して暮らせるまちづくりの満足度	2.95/5 (R1)	-					3.00/5	-	引き続き、安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいく。
	<p>これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○交通安全教育指導員「とまとーず」による交通安全教室を開催しました。(H18～)</li> <li>○高齢ドライバー対象のドライブレコーダーを使用した安全運転講習を開催しました。(R2～)</li> <li>○松阪地区生活安全協会、松阪警察署と連携した街頭啓発、出前講座などによる特殊詐欺被害防止をはじめとした防犯啓発活動に取り組みました。(H28～)</li> <li>○防犯カメラを設置する自治会を対象に設置等費用を支援することで地域の防犯や治安向上を図った。(H30～)</li> <li>○犯罪被害により日常生活が困難となった犯罪被害者やその家族を支援する制度を創設した。(R1～)</li> </ul>										